

大型業務用生ごみ処理装置 (TTE-S2000型)

処理工程及び機器構成

①生ごみ投入装置

処理物投入作業がフロアベースで行えます。
専用バケットを所定の位置にセットするだけで、昇降搬送及び反転装置で自動的に投入します。



②生ごみ減量処理機

生ごみの粒度を小さくし表面積を大きくすることにより、より効率よい発酵・乾燥を行うために、生ごみを破碎する装置です。



③分解処理タンク (発酵処理+乾燥処理)

当社独自の特殊攪拌羽根の回転により

1. 処理物をより細粒化します。
2. 攪拌により発酵菌に適度な酸素を供給し、効率良く処理します。
3. 攪拌と同時に攪拌羽根から温風を供給し、発酵を促進すると共に発酵生成後の乾燥処理を行います。
(温度コントロールで微生物の活性化しやすい最適な温度・水分に保つよう自動制御します。)

集塵装置・脱臭装置

発酵乾燥処理段階で発生する処理物微粉を

回収・洗浄脱臭処理し排気します。

④排出装置

排出扉を開け、排出コンベアにて回収ボックス等に搬送回収します。

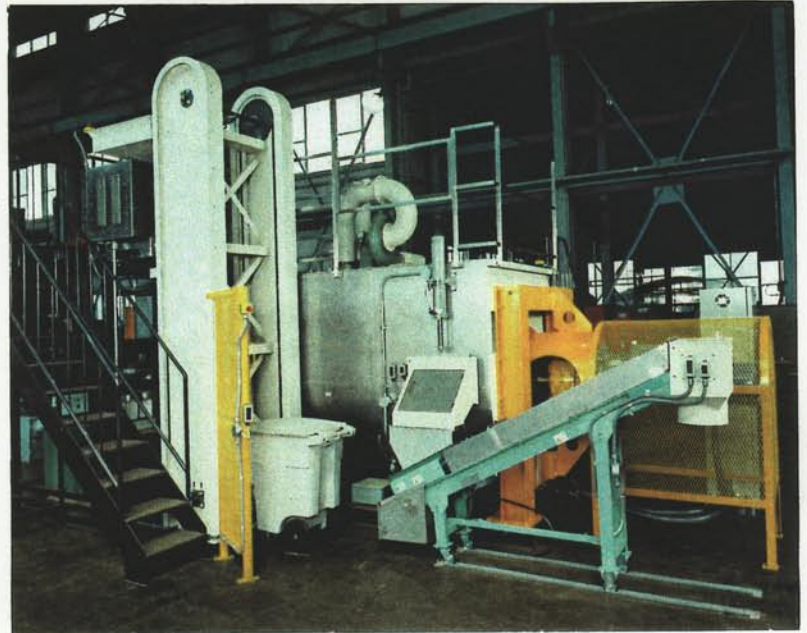
処理タンクからの排出は自動排出します。生ごみ投入量の80%~90%減量されます。

(減量率は生ごみの種類によって異なります)



⑤提携肥料工場での完全有機肥料化

当社提携肥料工場に搬入し、成分調整・二次発酵工程を経て完全有機肥料化。



仕様 (TTE-S2000型)

処理能力	~2t/日	
処理時間	~24 hr	
処理タンク容量	6300 ℓ	
電源	200V 三相	
使用電力	攪拌モーター	15.0 KW
	温風発生機	24.0 KW
	送風ファン	11.0 KW
	排気ファン	2.2 KW
	循環ポンプ	0.4 KW
	投入装置	0.75KW
	破碎装置	11.0 KW
排出装置	1.5 KW	

据付寸法 (全高として)	幅	5,700mm
	奥行	7,500mm
	高さ	5,000mm
機械重量	8,700Kg	

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
※処理能力・処理時間は処理物の種類状態によって異なることがあります。